

高速道路・本四連絡橋通行料金引下げ後の  
利用者アンケート調査結果について

平成 21 年 11 月 4 日

四 国 経 済 連 合 会

【本件についてのお問合せ先】

四国経済連合会

事務局長 宮武（みやたけ）

調査役 渡部（わたなべ）

TEL 087-851-6032

国の経済対策の一環として、本四連絡橋の通行料が今年3月20日(金)から、高速道路料金が3月28日(土)から引下げられています。特に、土・日・祝日の乗用車の場合、高速道路と本四連絡橋の通行料金は、それぞれ上限千円になりました。(ETC利用が条件。首都圏・京阪神圏の高速道路は除く)

こうした高速道路・本四連絡橋の通行料金引下げによる効果を検討するため、この度、四国経済連合会(会長：常盤百樹四国電力(株)会長)では、全国の方々を対象にアンケート調査を実施しました。

その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

## [アンケート実施要領]

- (1) 調査方法：四経連が運営するホームページ「ウェルカム！四国」を通じたインターネットによるアンケート
- (2) 調査期間：平成21年9月18日(金)～9月30日(水)
- (3) 有効回答：4,749名(うち四国外：4,539名、四国内：210名)
- (4) 回答者の属性

①性別 男性：2,281名、女性：2,468名

②年齢別構成比：

| 19歳以下  | 20歳代   | 30歳代   | 40歳代   | 50歳代   | 60歳代   | 70歳以上  |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1.4    | 15.9   | 33.1   | 27.1   | 15.6   | 5.8    | 1.0    |
| (18.5) | (11.6) | (14.8) | (12.5) | (14.1) | (13.0) | (15.4) |

(注)下段は、総務省「住民基本台帳人口(平成20年3月31日現在)」によるわが国の年齢別人口構成比

③地域別構成比：

| 北海道   | 東北    | 関東     | 甲信越   | 東海     | 北陸    | 近畿     | 中国    | 四国    | 九州・沖縄  |
|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 2.4   | 5.0   | 30.4   | 3.3   | 14.3   | 2.0   | 22.4   | 7.8   | 4.4   | 8.0    |
| (4.4) | (7.5) | (32.6) | (4.3) | (11.7) | (2.4) | (16.3) | (6.0) | (3.2) | (11.6) |

(注)下段は、総務省「住民基本台帳人口(平成20年3月31日現在)」によるわが国の地域別人口構成比

## [アンケート調査結果の概要]

### 1. 通行料金引下げによる高速道路や本四連絡橋の利用の変化

#### ① 四国在住者

- ・今年3月の通行料金引下げ後、車（マイカーやレンタカー）で高速道路や本四連絡橋を利用した人のうち、81.9%が従来より利用回数が増えており、その理由として、96.4%が料金が引き下げられたためとしている。
- ・利用の変化としては、「より遠方へ出かけるようになった」が65.9%いる一方、「公共交通機関利用から車利用に代えた」が28.1%となっている。

#### ② 四国外在住者

- ・通行料金引下げ後、四国に来た人は23.5%であり、車利用が約9割を占めている。その88.2%が料金が引き下げられたため四国に来たとしている。
- ・利用の変化としては、41.1%の人が「公共交通機関利用から車利用に代えた」としている。

### 2. 高速道路、本四連絡橋を利用した行き先等

#### ① 四国在住者

- ・車で高速道路や本四連絡橋を利用する回数が増えたとする人の72.1%が「四国外へ行く機会が増えた」とし、行き先は、近畿、中国地域が圧倒的に多い。

#### ② 四国外在住者

- ・四国での滞在は、1泊あるいは日帰りが多く、行き先は、「徳島・鳴門」、「高松周辺」など本四連絡橋の近接地域や高速道路の延伸地域が多い。一方、「四万十・足摺」や「安芸・室戸」などは、訪れたいとの希望がありながら実際の来訪に結びついていない状況にある。

## [調査結果からの示唆]

① 今回の通行料金引下げは、四国への観光客流入や地域間交流の活発化に寄与しており、今後の交流人口拡大のためには、料金引下げの継続が望まれる。

② 反面、鉄道や高速バス、フェリーなど公共交通機関への大きな影響も窺える。今後、通行料金の引下げが地域に与えるメリット、デメリットを見極め、四国における望ましい交通体系のあり方を見通した適切な政策が求められる。

③ 「四万十・足摺」、「安芸・室戸」等への来訪希望が多いにもかかわらず、実際の来訪が少ないのは、高速道路の整備が遅れ、アクセスに時間がかかることが大きな要因と考えられる。四国への観光客増加を四国全体の活性化に結びつけるためにも、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が必要である。

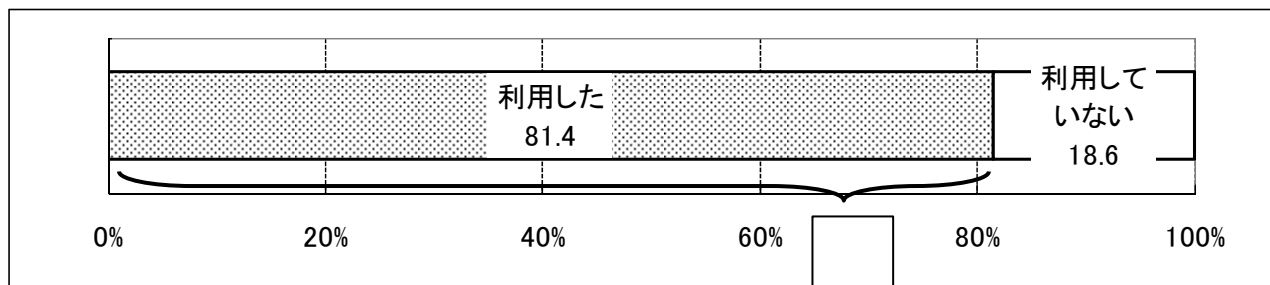
## 調査結果

### 1. 通行料金引下げによる高速道路や本四連絡橋の利用の変化

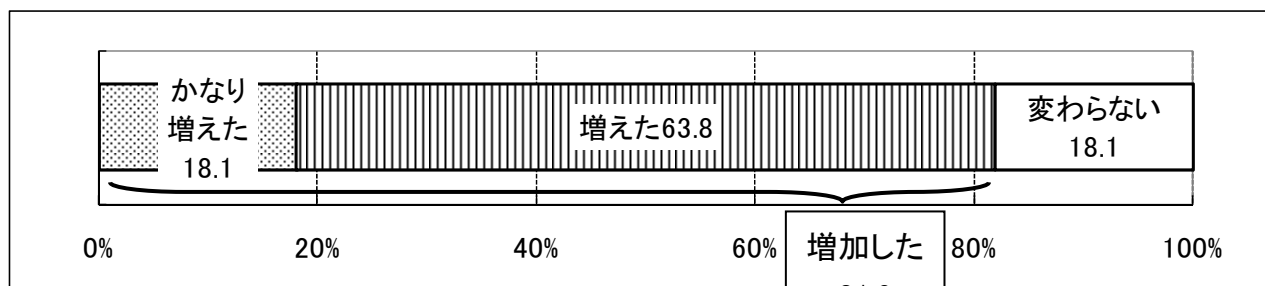
#### 【四国在住の方へのアンケート】

- ・今年3月の通行料金引下げ以降、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を「利用した」人は、回答者の81.4%であり、そのうち利用回数が「かなり増えた」が18.1%、「増えた」が63.8%と、全体で8割を超える人が利用回数が増加したと回答している。
- ・利用回数が増加したと回答した人の96.4%は、「通行料金が引き下げられたため」としており、料金引下げが利用増加の大きな要因になっている。
- ・通行料金引下げにより、「より遠方へ出かけるようになった」人が65.9%あり、また、28.1%の人が「公共交通機関利用から車利用に代えた」としている。
- ・今後の高速道路や本四連絡橋の利用については、86.7%の人が現行の引下げ料金が続けば利用したいとしている。

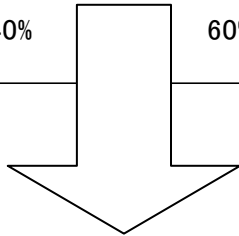
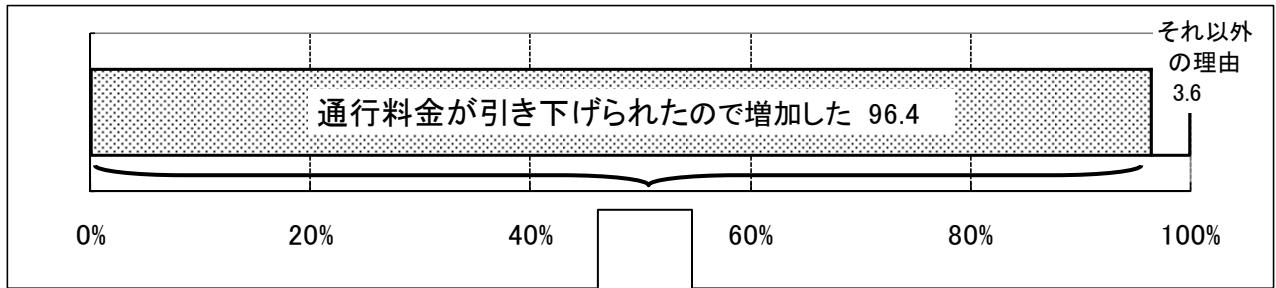
〔全員に対して、「通行料金引下げ以降、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用したか」との質問に対する回答〕



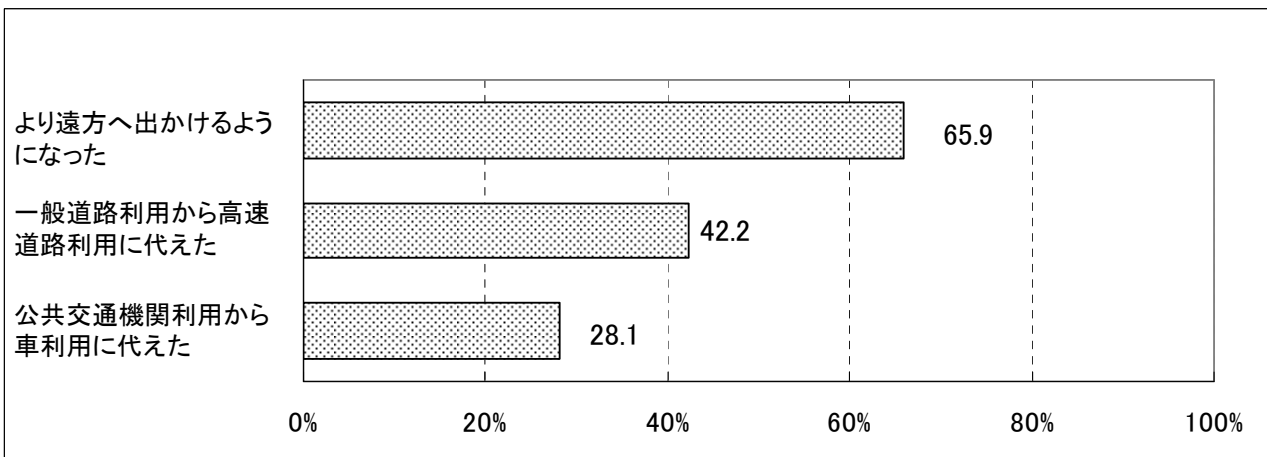
〔上記回答で、「利用した」とする人への、「利用回数は増えたか」との質問に対する回答〕



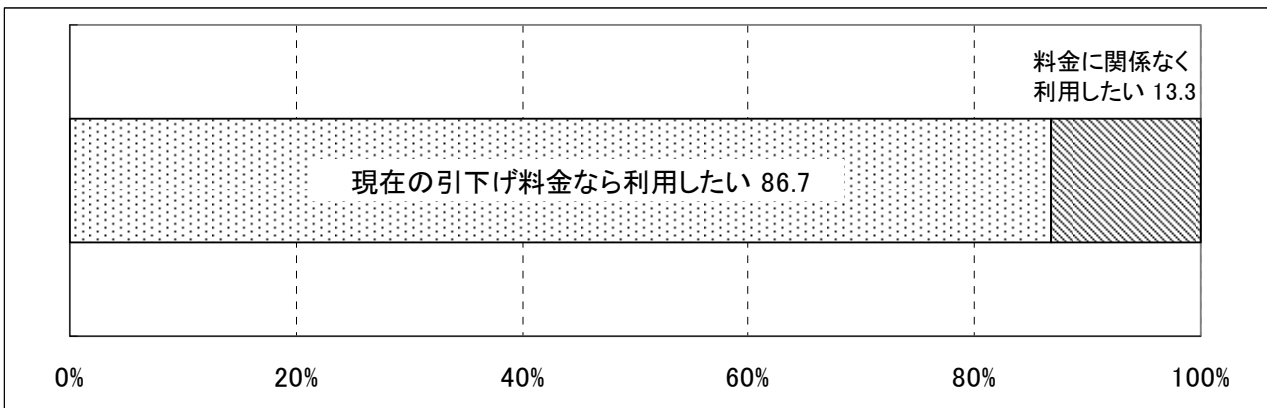
〔上記回答で、「増加した」とする人への、「増加したのは通行料金が引き下げられたためか」との質問に対する回答〕



〔上記回答で、「通行料金が引き下げられたため利用回数が増加した」と回答した人への、「高速道路や本四連絡橋の利用について、従来と変化があったか」との質問に対する回答 (複数回答)〕



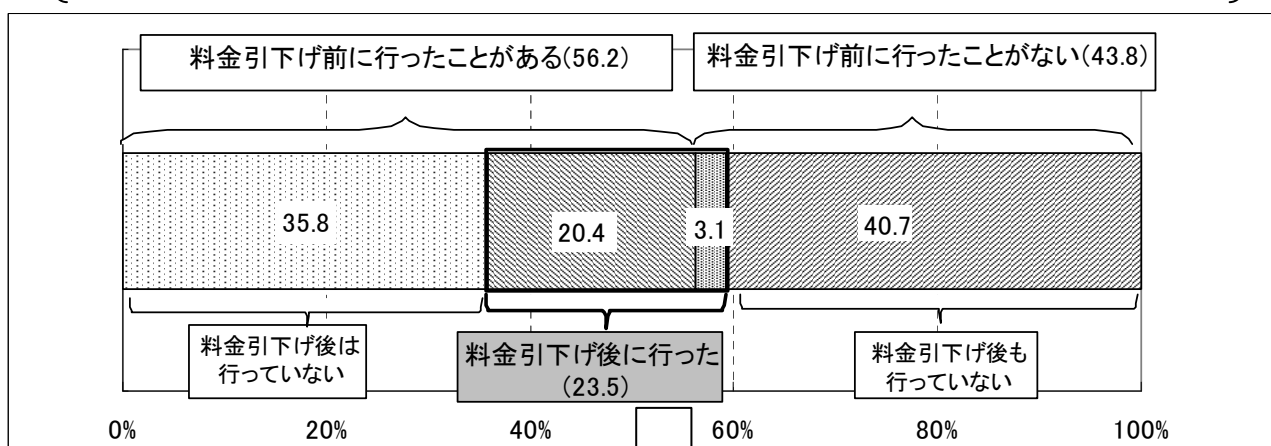
〔「通行料金が引き下げられたため利用回数が増加した」と回答した人への、「今後も、高速道路、本四連絡橋を利用したいか」との質問に対する回答〕



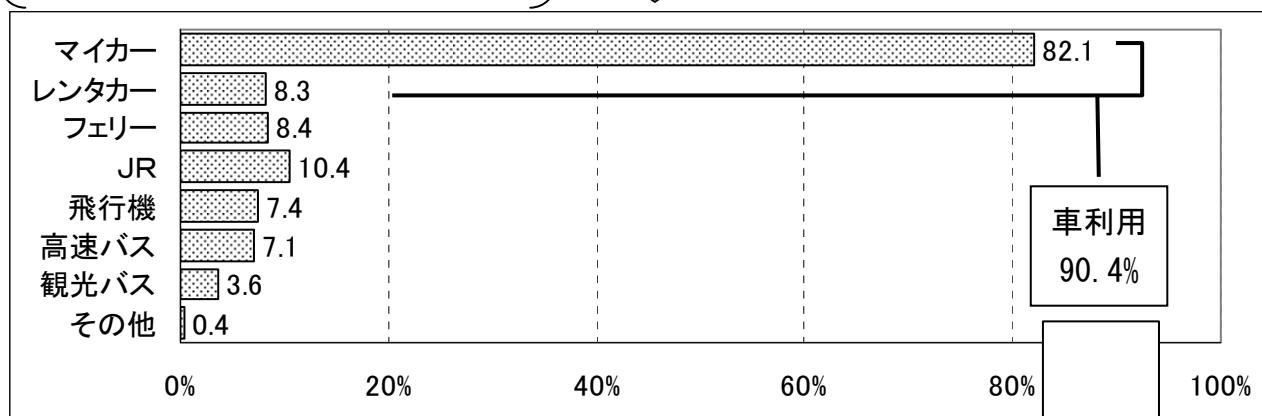
## 【四国外在住の方へのアンケート】

- ・ 四国外在住者の 23.5%が、今年3月の通行料金引下げ後に四国を訪れ、その9割がマイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用して来ている。
- ・ そのうちの 88.2%の人が、「通行料金が引き下げられたため四国に来た」、としており、料金の引下げが四国への来訪に大きく寄与している。
- ・ 通行料金引下げにより、「公共交通機関利用からマイカーやレンタカー利用に代えた」人が41.1%を占めている。
- ・ 今後の四国への来訪については69.5%の人が、現行の引下げ料金が続けば四国に来たいとしている。

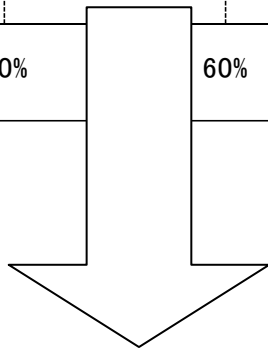
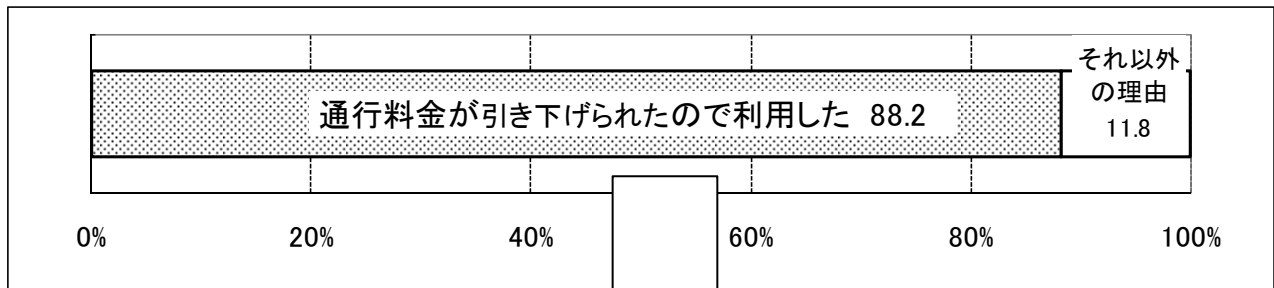
〔 全員に対して、「通行料金引下げ前に四国に行ったことがあるか」、「引下げ後に四国に行ったか」との質問に対する回答 〕



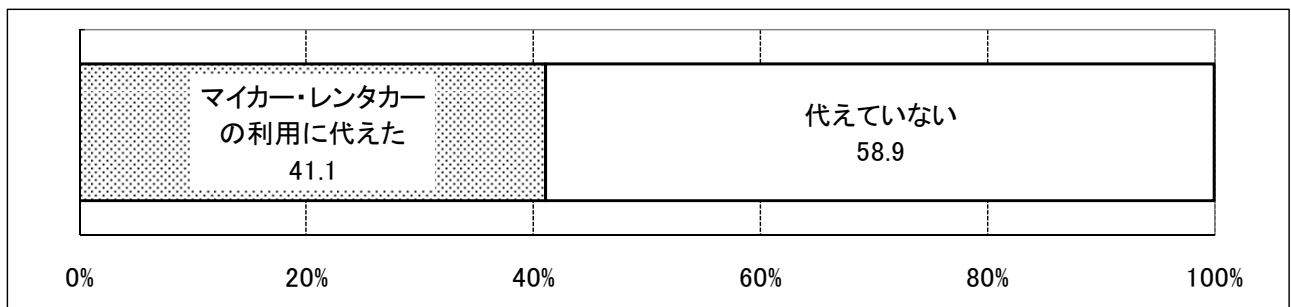
〔 「通行料金引下げ後に四国に行った」との人に「四国に行く交通機関は何を利用したか」との質問に対する回答 (複数回答) 〕



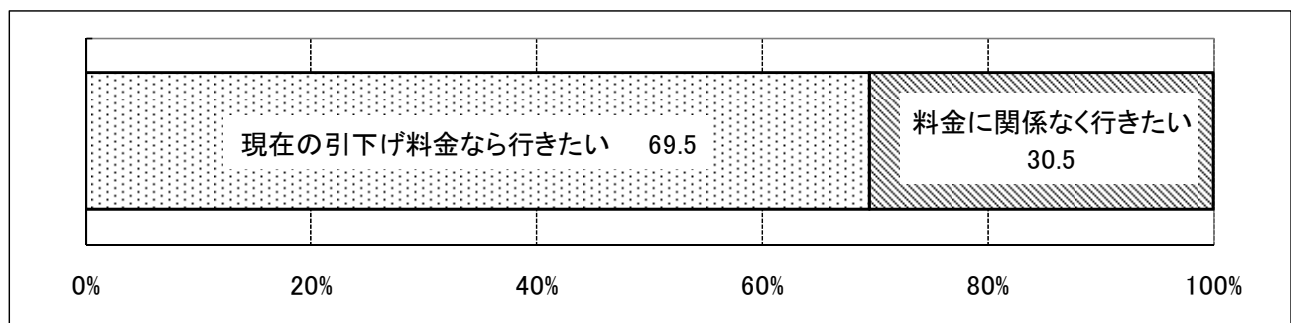
上記回答で、「マイカーやレンタカーを利用して四国へ行った」とする人に対して、「マイカーやレンタカーの利用は、通行料金が引き下げられたためか」との質問に対する回答



上記回答で、「通行料金引下げられたため、マイカーやレンタカーを利用した」と回答した人に、「公共交通機関の利用からマイカー、レンタカーの利用に代えたのか」との質問に対する回答



「通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーを利用した」と回答した人に、「今後、四国に行きたいと思うか」との質問に対する回答

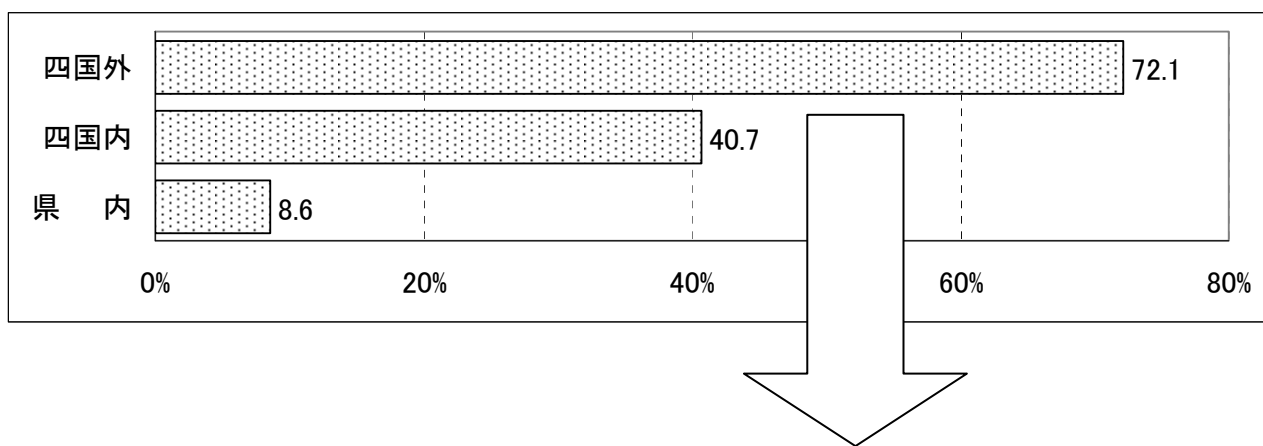


## 2. 高速道路、本四連絡橋を利用した行き先、目的

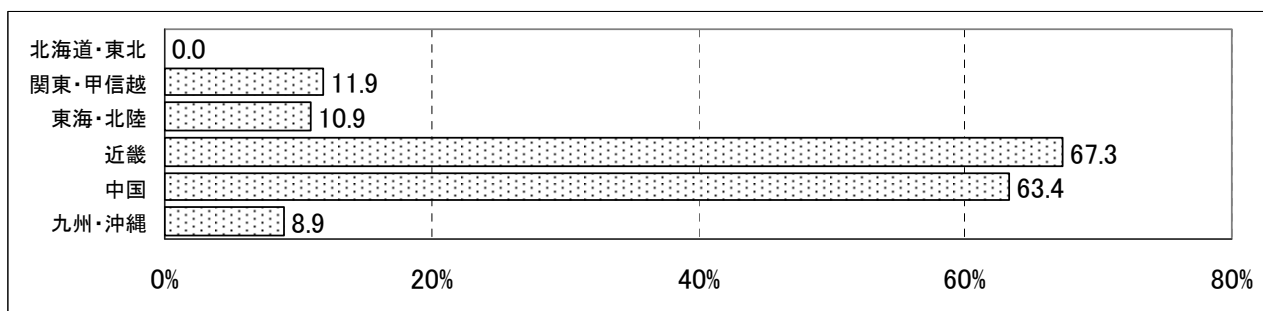
### 【四国在住の方へのアンケート】

- ・通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用する回数が増加したとする人の72.1%が、「四国外」に行く機会が増えたとしている。
- ・その人たちの行き先は、近畿地方、中国地方が圧倒的に多く、目的は「観光」や「レジャー」とする人が多い。

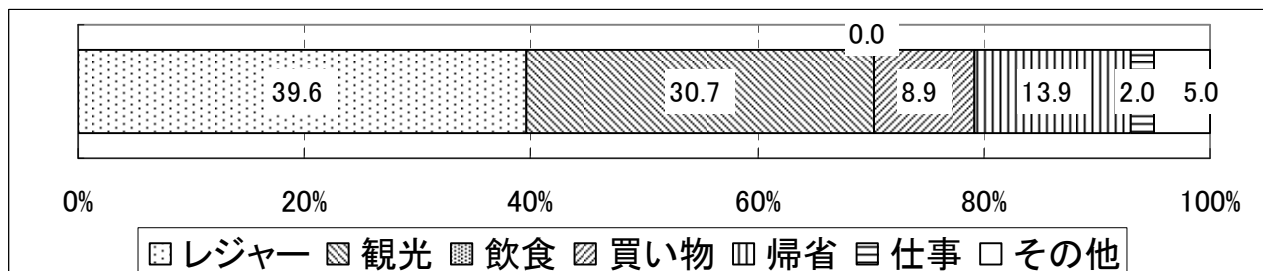
〔「通行料金が引き下げられたため、高速道路や本四連絡橋の利用回数が増加した」と回答した人に、「どこへ行く機会が増えたか」との質問に対する回答（複数回答）〕



〔上記回答で、「四国外へ行く機会が増えた」と回答した人に、「行った所はどこですか」との質問に対する回答（複数回答）〕



〔「四国外へ行く機会が増加した」と回答した人に、「主にどういった目的での利用か」との質問に対する回答〕

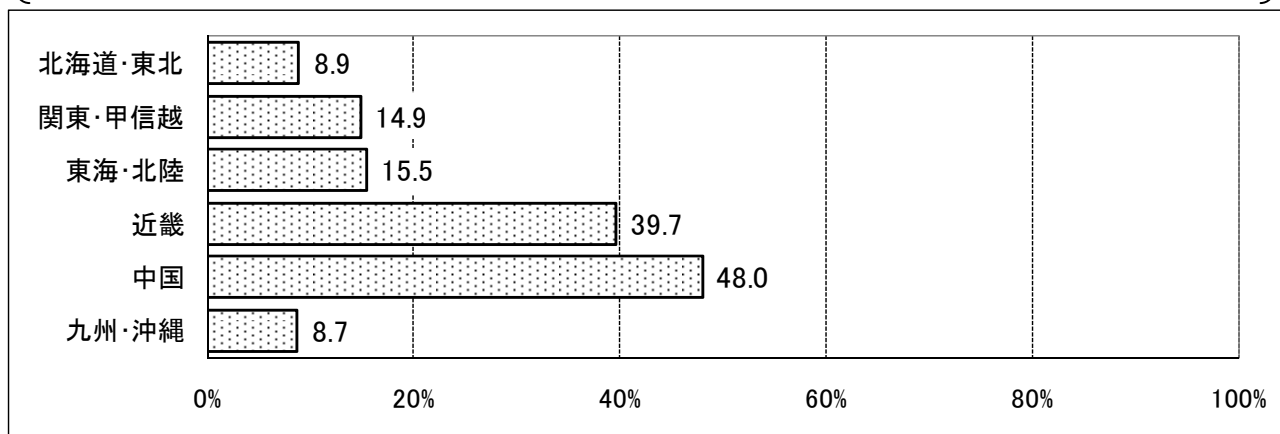




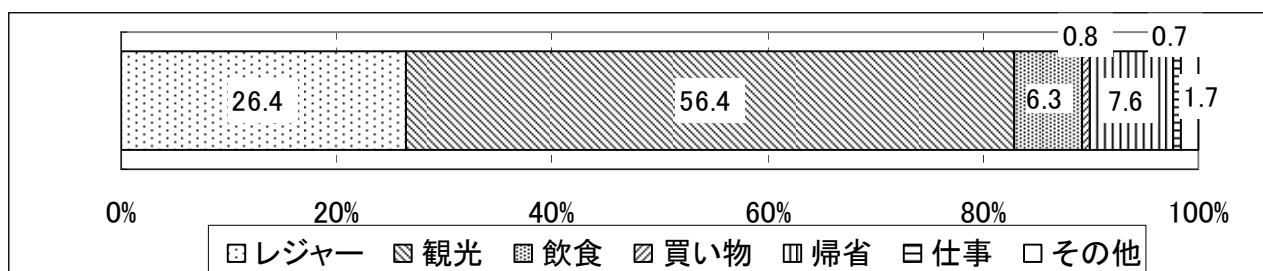
## 【四国外在住者の方へのアンケート】

- ・通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を使って四国に行ったとする人の割合は、中国地方で 48.0%、近畿地方で 39.7%と、近接する地域で高い。
- ・その人たちの多くは、「観光」や「レジャー」を目的としている。
- ・四国での滞在は、1泊(39.7%)、日帰り(26.3%)と短期間となっている。
- ・四国で行った所は、「徳島・鳴門」(51.4%)、「高松周辺」(41.7%)、「琴平・善通寺」(30.8%)、「松山周辺」(25.6%)、「しまなみ海道・今治」(22.7%)、「高知周辺」(21.9%)の順となっており、本四連絡橋の近接地域や高速道路の延伸地域が多い。
- ・一方、今後、車でいきたい四国の場所としては、「徳島・鳴門」(49.3%)、「四万十・足摺」(44.4%)、「高知周辺」(39.8%)、「松山周辺」(38.7%)の順となっている。
- ・また、前回調査(平成21年3月の料金引下げ前に実施)と合わせて見ると、「四万十・足摺」、「安芸・室戸」への来訪希望が多いが、実際の来訪は少ない。

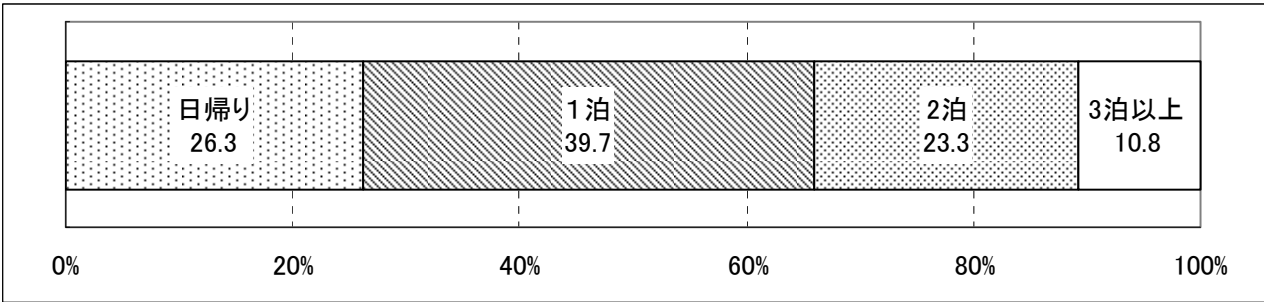
〔「通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用して四国に行った」と回答した人の地域別割合〕



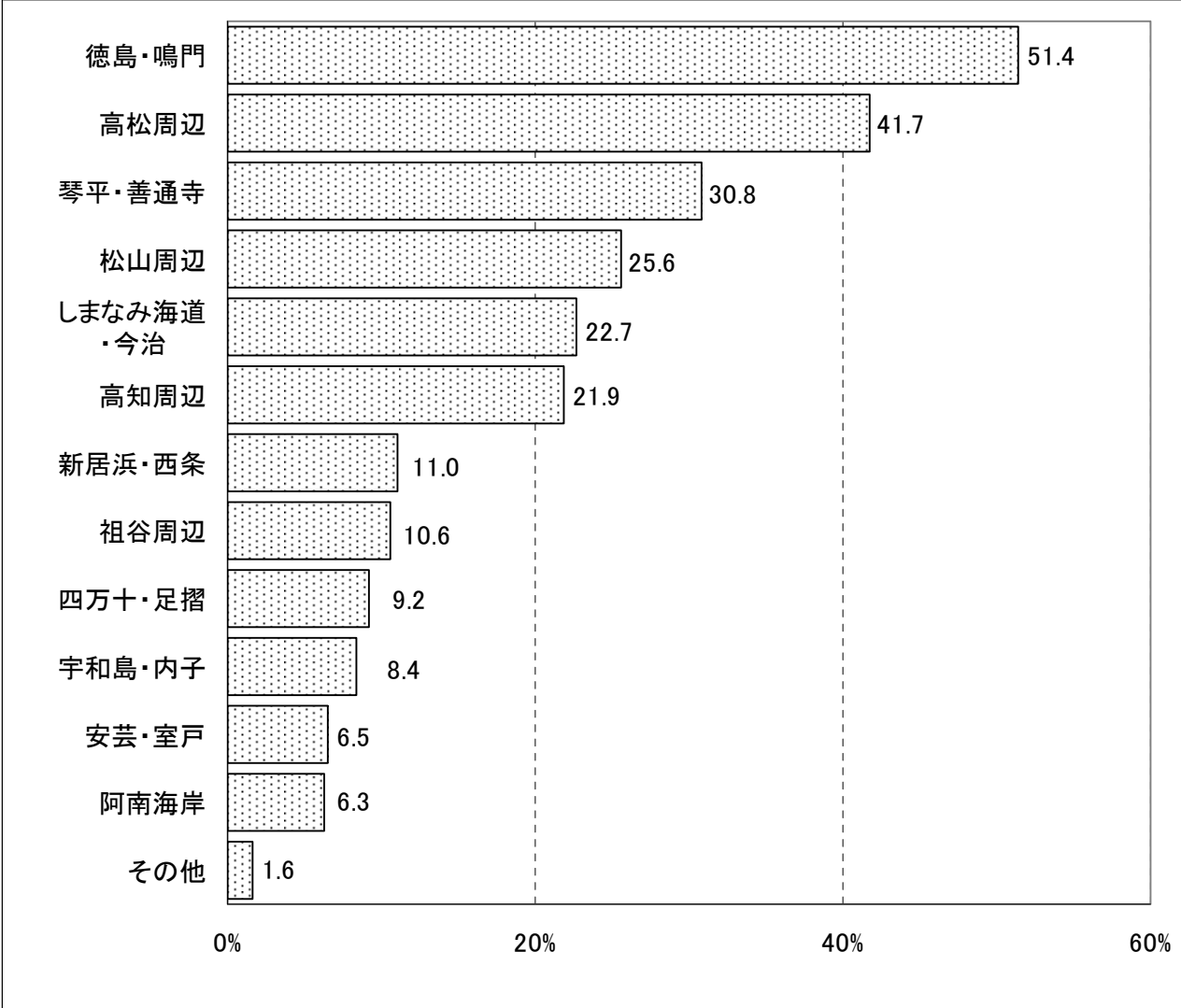
〔「通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用して四国に行った」と回答した人への、「主にどういった目的での利用なのか」との質問に対する回答〕



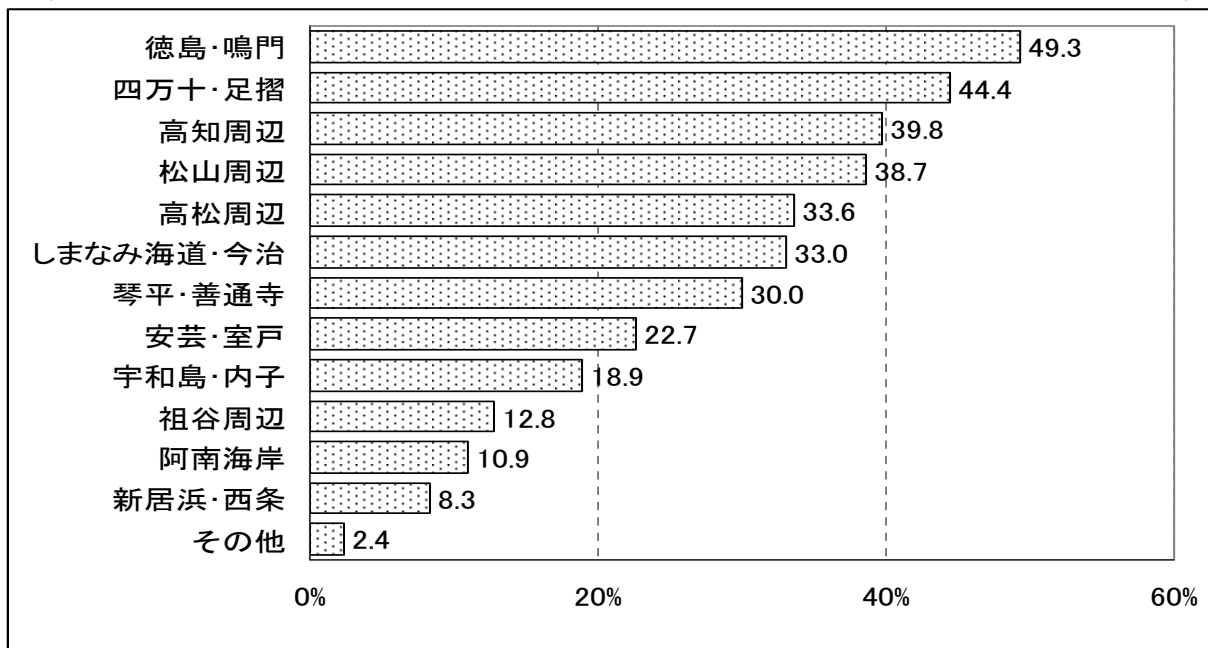
「通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用して四国に行った」と回答した人への、**四国での滞在日数**についての質問に対する回答



「通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用して四国に行った」と回答した人への、「行ったところはどこか」との質問に対する回答 (複数回答)



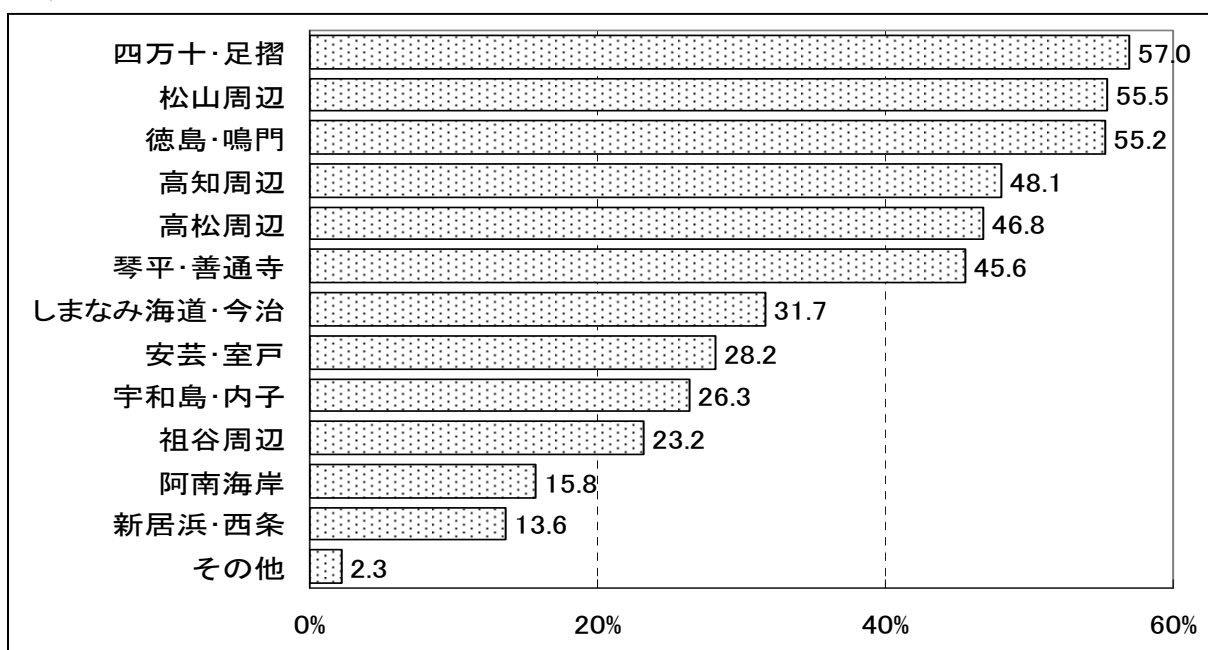
「通行料金が引き下げられたため、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用して四国に行った」と答えた方全員に、「今後、車で行きたい四国の場所はどこか」との質問に対する回答（複数回答）



※前回調査 「本四連絡橋料金引下げに関するアンケート」

- ・調査方法：四経連が運営するホームページ「ウェルカム！四国」を通じたインターネットによるアンケート
- ・調査期間：平成21年2月20日(金)～3月10日(火)
- ・有効回答：7,796名（うち四国外：7,246名、四国内：550名）

前回調査(平成21年3月の料金引下げ前に実施)において、四国外在住の方で、「通行料金引下げ後に、マイカーやレンタカーで本四連絡橋を利用して四国に行きたい」と答えた方全員への、「車で行きたい四国の場所はどこか」との質問に対する回答（複数回答）



### 3. 四国の高速道路を走って感じたこと

- ・四国の高速道路を走って感じたことは、半数近くの人がスムーズに走行できたとしているが、一方で片側1車線の対面通行部分を走行する時の不安、渋滞の多さを指摘する人も少なくない。

特に、四国在住の人が「片側1車線の対面通行部分を走行する際、不安だったとする」回答が多かった（57.3%）。

四国在住者で「通行料金引き下げ後、マイカーやレンタカーで高速道路や本四連絡橋を利用した」と回答した人ならびに、四国外在住者で「料金が引き下げられたため四国に行った」と回答した人への、「四国の高速道路を走って感じたこと」についての質問に対する回答（複数回答）

